

# 世田谷区における教育ICT推進の 取組みについて

令和4年4月26日  
世田谷区教育委員会事務局



# 世田谷区紹介

東京23区

特別区人口:9,660,461令和4年3月時点  
(東京都 13,972,039)令和4年3月時点



世田谷区人口:917,145(全国13位) 令和4年4月時点

世帯数 :491,159 令和4年4月時点

区立小学校数:61校(児童数38,394人/1,247クラス)

区立中学校数:29校(生徒数11,512人/ 359クラス)

令和3年5月時点

令和3年5月時点

【特徴】

世田谷・北沢・玉川・砧・烏山地区の5つの地域に分けられる。都心に近く、交通の便が良い住宅地

# 本日の説明内容

世田谷版教育DXに関する中長期的な取組み推進に向けた  
「統合型校務支援システム」の導入

学校緊急連絡情報配信サービス「すぐーる」を活用した  
教育委員会・学校・保護者間での迅速かつ双方向型の  
情報共有の実現

# 世田谷版教育DXに関する中長期的な取組み推進 に向けた「統合型校務支援システム」の導入

世田谷区教育委員会事務局  
教育長 渡部 理枝

# 「世田谷版教育DX」推進に向けた取組みについて

## 1. システム統合及び学びのデータの共有・利活用

児童・生徒がタブレット端末により学んだ学習データは日々、システム・アプリ内に蓄積されている一方で、現行の校務支援システムは学習データとの連携を行うことができない。また、保健・学籍・校務・成績機能が分散しており、二重入力や紙からの転記入力が必要になっている。

学校生活の情報と学習データを連携させ個別最適化された学びを推進するとともに、機能統合による効率的な運用を実現するため、「統合型校務支援システム」を導入する。

### システム統合

分散しているシステムの機能を統合し、効率的な運用を実現する。

#### 保健管理機能

- ・健康診断
- ・保健室利用
- ・保健日誌



#### 学籍管理機能

- ・児童生徒名簿
- ・転出入・進学
- ・いいとこみつけ
- ・出席簿



#### 校務管理機能

- ・日課・時間割作成
- ・週案管理
- ・出勤簿



#### 成績管理機能

- ・成績処理、成績個票
- ・通知表
- ・指導要録
- ・調査書
- ・個人カルテ



学校生活のデータ



統合型校務支援システム

学習データ



学習系システム・アプリ



データ連携

ダッシュボード（児童・生徒カルテ）

教員  
（職員室等）



学校生活のデータと学習データを連携させてダッシュボードで一元管理し、「学びを可視化」する。（詳細は次ページ）



# 世田谷版教育DX推進に向けた「統合型校務支援システム」の導入

## 2. 教育ICTの統合支援

児童・生徒の個性や特性に応じた学びのさらなる推進や、教員の働き方改革を進め、子どもたちと向き合う時間を拡充していくためには、学校への迅速なサポート体制が不可欠である。高度な専門技術を有するICT事業者による「統合支援委託」を導入し、ヘルプデスクの連携・統合やICT支援員との連携強化など、保護者や学校等からの要望や問合せに対し切れ目のない対応を行うとともに、ICT環境の整備とコストの最適化を図る。

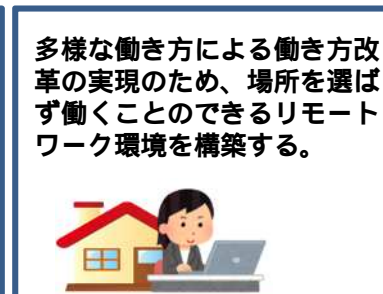
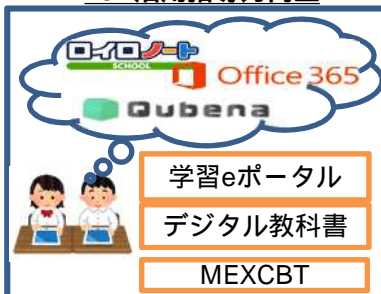
教育委員会のICT環境  
整備・活用支援

統合型校務支援システムを  
軸としたシステム統合

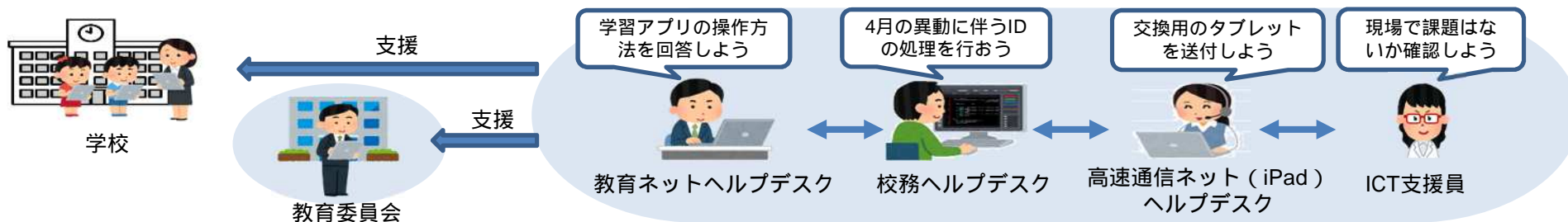
新たな学びの推進と  
ICT活用指導力向上

保護者と学校の双方向  
コミュニケーション

★ 教員のリモートワーク



### ★ 統合支援：要望や問合せに対し、切れ目のない対応を実現

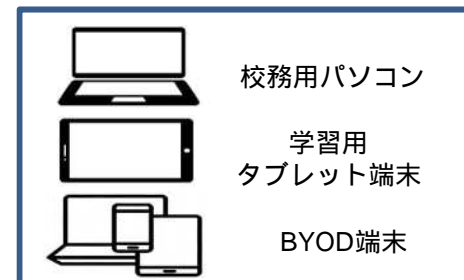
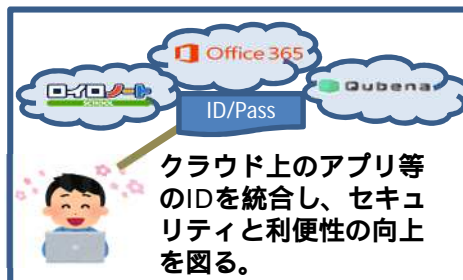


★ ネットワーク統合・  
全体コストの最適化

★ 統合ID管理

必要に応じて柔軟に  
拡張できるクラウド活用支援

端末の集約とBYOD検討



★ は、令和4年度に重点的に取り組む項目

# 学校緊急連絡情報配信サービス「すぐーる」を 活用した教育委員会・学校・保護者間での迅速 かつ双方向型の情報共有の実現

世田谷区教育委員会事務局教育政策部  
教育ICT推進課長 齋藤 稔

# 「すぐーる」導入の経緯

## 【導入の経緯】

- ・ 既存の学校緊急情報メール配信サービス委託先事業者が令和2年度末でのメール配信事業からの撤退を表明。
- ・ 令和3年度より新たな保護者向け学校緊急情報配信サービスへの移行が必要となる。
- ・ 各社サービスを比較検討した結果、保護者との双方向的なやり取りが可能で、柔軟性と拡張性を有するサービスとして「すぐーる」の採用を決定。
- ・ 令和3年度より「すぐーる」の本格導入を開始し、現在、「すぐーるアプリ」を介して学校からの欠席連絡や健康観察結果連絡をはじめとする双方向のやり取りを実施。
- ・ これにより、保護者の利便性向上と学校側の業務省力化の双方を同時に実現。



# 「すぐーる」の主な機能

資料配布、アンケート、欠席連絡等をデジタル化し、教育現場の業務負担を軽減

## 01 お便りのデジタル配信

資料を電子化することで印刷や配布の手間と費用を削減



## 02 アンケート

保護者向けアンケートの送付回収をオンライン化。集計も自動で実施



## 03 欠席・遅刻連絡

欠席遅刻の連絡を日時や理由を含めて受け取ることができます



## 04 健康連絡帳

子どもの体温などの健康状態をオンラインで実施可能



## 05 既読確認・再通知機能

配信時に既読確認設定すると保護者の既読状態を確認できます



## 06 自動翻訳機能

文部科学省が対応を勧めている8言語に対応



## 07 4つまで連絡先登録可

保護者以外にも複数の連絡先を登録したい要望にも柔軟に対応



## 08 アプリならではの通知

PUSH通知機能や未読状況を確認しやすいメッセージラベル機能付き



# 「すぐる」の特長

学校-家庭-地域における連絡手段を一元化できる「すぐる」により、「連絡手段のデジタル化」をはじめとする教育現場の課題を解決

## 教育現場の課題

### 学校



働き方改革  
地域学校連携

### 家庭



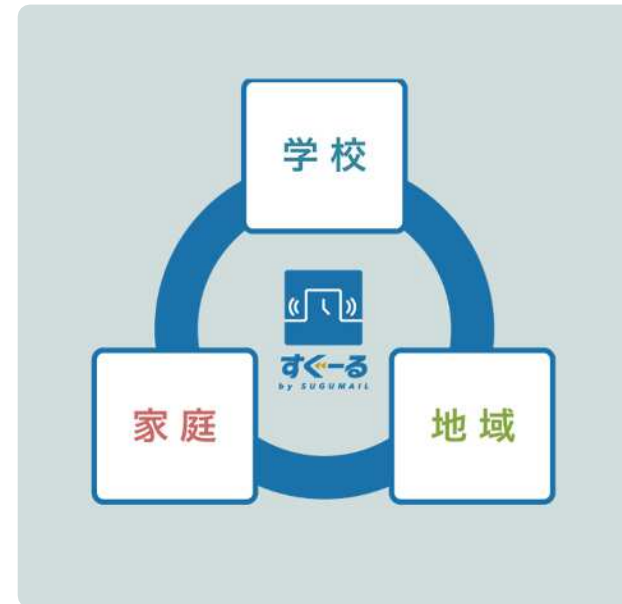
子供の安全確保  
家庭の負担軽減

### 地域



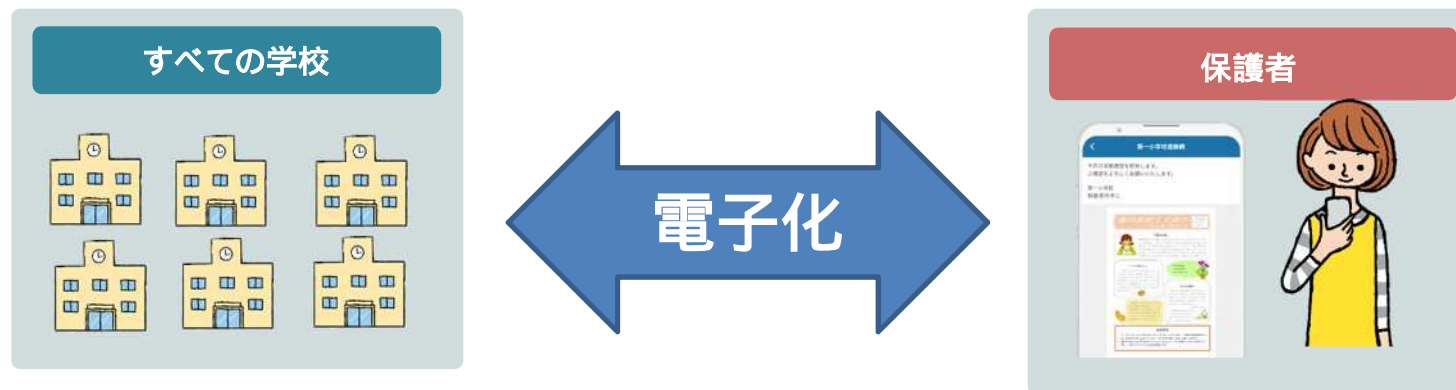
地域としての  
協力体制構築

連絡手段の  
一元化により  
課題を解決



# 「すぐーる」の導入による効果

1. アンケート機能を使った、作業時間の短縮、  
保護者からの回収速度向上
2. 欠席確認、保護者への連絡の電子化により  
高速・省力化、朝の電話対応時間減少
3. 紙の配布物をデジタル化し、  
作成時間も印刷コストも削減



**今後に向けて**

# 未来を創る子供たちのために

**ハード・ソフトの両面から教育改革  
「GIGAスクール構想」がはじまりました**

**教育DXの推進が加速されます**

デジタル教科書の活用やC B Tが普通のものに  
まずは授業でできることから、文具としての利用促進  
教師の働き方改革により、より児童・生徒との時間を確保  
「端末」「通信ネットワーク」「クラウド」のセット

**一人一台学習者用端末は令和のスタンダード**

学びのICT活用が当たり前の社会に